

### 3) 歷史景觀

### ■景觀資源圖（歷史景觀）



### （１）先史時代

本市には、琉球縄文貝塚の中でも大規模なものといわれ、南島の先史文化を考える上で貴重な資料となっている伊波貝塚や、伊計島のほぼ中央にある貝塚時代中期の集落跡である仲原遺跡をはじめとする先史時代の史跡が市内各所に残されています。こうした先史時代の暮らしぶりを伝える史跡等も本市の歴史景観を彩る重要な要素となっています。



伊波貝塚(石川伊波)



仲原遺跡(与那城伊計)



## （２）古琉球時代

本市には、古琉球時代につくられたとみられる 20 余りのグスクがあります。それぞれのグスクには言い伝えがあり、往時の様子を伝える重要な資源となっています。特に、世界遺産に登録された勝連城跡は、歴史上著名な阿麻和利の居城として琉球史に刻まれています。阿麻和利が統治していた当時は、沖縄最古の歌謡集「おもろそうし」で京や鎌倉に例えて歌われるほど栄えていたといわれています。

### ■グスクの位置



勝連城跡(勝連南風原)



伊波城跡(石川伊波)



安慶名城跡(字安慶名)





喜屋武グスク(字喜屋武)



具志川グスク(字具志川)



兼箇段グスク(字兼箇段)



伊波按司の墓(石川伊波)



平安座西グスク(与那城平安座)



江洲グスク(字江洲)



比嘉グスク(勝連比嘉)



野グスク(与那城)



泊グスク(与那城宮城)



南グスク(与那城上原)



伊計グスク(与那城伊計)



クボウグスク(勝連津堅)



### （３）近世・近代

近世になると、間切（まぎり）によって行政区域が定められ、各間切を統治する役所として番所が設置されました。そして首里王府と番所を結ぶための街道として「宿道」が整備され、多くの人々が行き交ったとされています。<sup>うふたびら</sup>大田坂など一部に残されている史跡は往時をしのぶ貴重な資源となっています。



<sup>うふたびら</sup>  
大田坂(字上江洲)



ワイトウイ(勝連平安名)

#### (4) 戦中・戦後

本市は、太平洋戦争において大きな被害を受けました。その傷跡や戦後復興の名残りが各地に残されています。例えば、琉球政府の前身である沖縄諮詢会が置かれた旧石川市の市街地には、戦中戦後の沖縄政治・経済の中心地として発展した記憶を残す史跡や街並みが数々残されています。



サーターヤーの煙突(勝連平敷屋)



石川部落事務所(石川)



屋慶名防空監視哨(与那城屋慶名)



藪地洞穴遺跡(与那城屋慶名)



東恩納博物館跡(東恩納)



沖縄諮詢会堂跡(石川)